

事業所名 放課後等デイサービス はらペコ

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

4 日

法人（事業所）理念		輝ける場所を すべての人にを理念とし、障がいや生きづらさを抱えた人が生きやすい世界を目指す。					
支援方針		利用者さんが安心して過ごせる居場所を提供し、利用者さん家族の居場所も作る。ひとりひとりのエネルギーを大事にし、ひとりひとりにあった支援を提供する。					
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支援内容			具体的内容		
本人支援	健康・生活	①基本的な日常生活スキルの獲得 ②食事・食育による健康状態の維持・改善			①日常生活に必要な「生きる」ためのスキルの獲得 ・「食べる」…育てる・収穫する・調理する・食べる・片付ける ・「環境」…物の管理や身だしなみ、来所後のルーティンの確立 ・「自立」…自分の好き・苦手を理解し、他者にSOSを出すことができる ②どの栄養素が身体に影響しているのかを理解して食事やおやつを提供 ・実際に子どもたち主体で調理などの体験ができる ・痲癩を起こす児童の保護者に対しての食事の提案		
	運動・感覚	①姿勢保持 ②体力をつける ③保有する感覚の活用			①理学療法士による専門的な視点から身体の使い方を学ぶ ②公園やお散歩、体育館を利用し、遊びを通して体力をつける ③固有覚(筋肉や関節)・前庭覚(身体のバランスやスピード感)を獲得するための活動の実施や道具を使用		
	認知・行動	①認知の発達と行動の習慣 ②対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得			①見通しを立てて安定した行動ができるように、ホワイトボードや個別にスケジュールを作成。また、音やタイマー等を使用して外部からの刺激による切り替えを行う ②活動や遊びの中から感じた考え(認知)・気持ち(感情)・反応(身体)・振る舞い(行動)の4つの側面に注目。困りごとが続いてしまう原因を見つけ出し、考え方や行動の幅を柔軟にしていく		
	言語 コミュニケーション	①コミュニケーションの基礎的能力の向上・獲得 ②コミュニケーション手段の選択と活用・実践			①普段の会話から気持ちや意見を引き出し、うまく伝えられないときは支援者が代弁したりまとめたりする ②文字でのやり取りや視覚掲示物による指示を通してコミュニケーションを取っていく。		
	人間関係 社会性	①人間関係の形成 ②意思決定支援 ③ストレスに対するスキルの獲得と実践 ④自己理解			①様々な学年同士で触れ合える活動や遊びの提供 ②本人の意見や意思を尊重するため、選択肢の提示や意見や意思を出しやすい環境作り ③ストレスに対する考え方や代替案を一緒に考えて実行していく		
家族支援	2か月に1回ペアレントトレーニングを開催。保護者同士のつながりが持てる場を作り、進路や就労、育て方などの悩みを解消			移行支援			
地域支援・地域連携	・ハロウィンパーティーでは同地区の放課後等デイサービスと合同で行い、児童間の交流を増やす ・公園遊びの際に地域児童も含めた活動の提供			職員の質の向上			
主な行事等	・季節の行事(1月初詣 8月夏祭り 10月ハロウィンパーティー 12月クリスマス会) ・おでかけ(マリンワールド 福岡市科学館 公園 コンサート等) ・避難訓練(火災・地震・水害 防災センターで消火・地震体験学習)						